令和5年度

病害虫発生予察情報　　　第7号

注意報第2号

北海道病害虫防除所　令和5年(2023 年)6月26日
http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/
Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

ばれいしょの疫病が早発する恐れ！
天候の変化に注意し適切な防除を実施しよう！

ばれいしょの疫病初発時期予測システム「ＦＬＡＢＳ」では算出した感染好適指数の累積値が 21 に達した日を基準として、疫病の初発時期を予測します。本年は６月 21 日時点で全道 25 地点中 19 地点が既に基準日に達しており、このうち６地点では 2002 年以降最も早く基準日に達しています。

道内の６月の降水量は 18 日までの実況で平年比 131％と多く推移していることや 19 日発表の早期天候情報から今後疫病菌の活動に好適な気象条件となる可能性があります。特に本病は初発後急激に病勢が進展し、発病後の防除開始では十分な効果を得ることが難しいため、天候の変化に注意するとともにほ場観察に努め、薬剤の散布開始が遅れないようにしましょう。

１．発生地域　　全道

２．発生期　早

３．注意報発令の根拠

１）ばれいしょの疫病初発時期予測システム「ＦＬＡＢＳ」で６月 21 日現在 25 地点中 19 地点が基準日（危険期到達日）に達しており、このうち６地点では 2002 年以降最も早い。また、上川、後志、十勝及びオホーツク地方では直近 10 年間の平均と比べ 10 日以上早く基準日に到達した地点が認められている。

２）疫病菌の活動には湿度と温度が重要で 18～20℃が最適温度である。６月 18 日までの実況では北海道地方の降水量は平年比 131％であり、６月 19 日札幌管区気象台発表の早期天候情報では６月 25 日頃から 5 日間平均気温平年差が＋2．4℃以上と予報されており、多くの地域で疫病菌の活動に好適な温度帯になると予想される。

３）ばれいしょの生育は平年よりやや早く進んでいる。

４．防除対策

１）疫病の初発後は急激に病勢が進展することがある。ほ場をよく観察し、薬剤の散布開始が遅れないように注意する。さらに、降雨によって防除適期を失しないよう気象情報にも注意し、防除ガイドに準拠して薬剤散布を行う。

２）メタラキシル剤には全道で広く耐性菌が認められているので、薬剤の選択には注意する。

３）ダブルインターバル（14 日間隔）散布を行う場合は、初発前から散布を開始し、薬剤は 14 日間隔での指導参考薬剤を用いる。

４）防除ガイド及びＦＬＡＢＳでの計算結果は北海道病害虫防除所のホームページを参照のこと。